

## E36 川柳コンペ

H26 弥彦同級会編

&lt; 全104句のうち事務局で、最大一人3句までに絞りました。 &gt;

番号	ついに狂歌も仲間入り…しました。一人一賞としましょう。	作者	寸評 (評者の身勝手な寸評です、作者の意図と違うかも・・・)
最優秀賞	生甲斐を 無くし生きるも 生きる義務	小幡隆男	これは深刻。義務と考える残り人生は辛いもの…でしょうね。
佳作	仕分けされ 後期高齢 次ぎ末期	結城忠章	高齢者(65<), 後期高齢者(75<), 末期高齢者?(85<)でしょうかね。
佳作	週二日 計画だけの 休肝日	石黒泰男	カミさんの顔色伺い、今日は特別いい事あったから、などと言い訳しながら…。
佳作	人の名を 思い起こすに 四苦八苦	長谷川進	え〜と、ほらあの時の〜。言えそうで言えない、この焦りと苦しみ、いつものことです。
1	達者でな 次回(つぎ)も次々会(つぎ)もと 頑張ろう	大嶋 實	次の同級会を目指して、健康維持に邁進しましょう。
2	ご自慢は 爺婆なるも 田舎者	川村吾一	田舎もんでいたほうが肩も凝らずに得をしますね〜。「知足」ってやつかな。
3	孝行は 親にできずに 妻にする	小宮山久治	最近、諦観・感謝入り雑じり”ハイハイ”と言ってることが最善と、悟りの境地。
4	酒を飲む 薬と言って 今日飲む	櫻井 明	酒は百薬の長とやら、呑んべいには大切な先人訓。
5	短身の コンプレックス 過去の事	川村吾一	年齢に比例して背が伸びると思っていたが、最近縮みかげんなんだよな。
6	エアコンの リモコン探す徘徊で 夜通し汗かくボケ親父	廣井 均	これもあれも、全てが猛暑のせいだ。と思いたいところだが…。
7	同級生(友)である 奇跡に思い馳せ 今集う	新井誠司	入学試験の当落での組み合わせ、あれからもう半世紀以上の付き合いだね。
8	さりげなく 友の黒髪 確かめる	櫻井 明	「あいつよりも俺のほうが10本は多いな」(50歩百歩の安心感)
9	呑んで寝て 数えて待つは 弥彦山	星 富夫	遠足前夜の小学生のごとく。いいですね〜。
10	友の貌(かお) 昔も今も 変わりなし	小幡隆男	待ち合わせ。通り過ぎて「もしかして?」「あ〜やっぱり」。
11	返信の 筆跡見つめて 蘇る 笑顔の友に 想いは巡る	高山絃一	句のとおり。着信の度、懐かしいあの頃が脳裏に浮かんでくる。幹事冥利の役得か。
12	お酒飲み おけさ歌って 喜寿を待つ	廣井 均	弥彦同級会のあとは多分「喜寿同級会」? その時、全員の参加を祈りたい。。
13	今日もまた メガネと入れ歯が かくれんぼ	平賀芳三	昔のことは覚えていても、昨日や”さっき”のことはつい忘れ。
14	ふるさとへ 寄付したお礼が 花火券	帆刈明夫	最近の長岡花火はやけに有料席が増えましたなア〜。
15	吟行(ぎんこう)の つもりで出たのに 徘徊と?	勝沼正敬	川柳を詠もうと思って、ふらり、かみさん曰く「徘徊ですか?」
16	これからは 生きる人生 感性で	川村吾一	そうだね、くよくよ考えずに、思ったままの生き方が肩が凝らずにいい…。
17	「同じ釜」など及ばぬワイ、「早弁メン」の旨さよ、あ々なつかしきかなE36のあの頃	佐々木菊夫	いろんなおかずが満載の弁当を引き合いにした意味深の秀作。
19	猫往って 旅立つ準備 一つ終え	櫻井 明	これまでは力ずくでできた人生も、しがらみを一つ一つ片付けてゆかないと。
20	ハイウエー 虹のトンネル 追いかけて	新井誠司	ハンドルの向こうに虹が。近づくようで、逃げてゆく。
21	来ぬ来れぬ 来れる幸せ また一杯	大嶋 實	そうなんです、出たいが出れない身の回り。古希を過ぎ、そんな事情がかくれんぼしている。
22	怖い電(ひょう) 収穫直前 壊滅に	今井幸夫	異常気象と言いつつも、それが定着しつつあるこの頃ですかね。
23	弥彦の湯 川柳できなきゃ 入られぬ	阪西保	そうですね、秀作には貸切風呂でも…。

番号	ついに狂歌も仲間入り…しました。一人一賞としましょう。	作者	寸評 (評者の身勝手な寸評です、作者の意図と違うかも・・・)
24	山登り 温泉・ビール 同級会 今の楽しみ たったこれだけ	勝沼正敬	今日現在、これだけあれば十分でしょう。欲張らず「知足」も大切では？
25	飲みながら 作った川柳 どこ行った	阪西保	飲んでいて、フト思いつく川柳が、書こうとすると～。
26	投句した これでみのやの 入場券	平賀芳三	そうです。秀作川柳は同級会の記憶に残ります。
27	川柳が できないままに 鼻いびき	阪西保	川柳を考えている間に、つい、ウトウトと舟を漕ぐ。
28	よそ行きも 顔がなければ よく似合い	平賀芳三	顔のしわ、歩く姿勢に後ろ髪、いろいろありますが気にしない、気にしない。
29	やひこ路に 集い來たるは エレキ連	保科尠	若き頃エレキテルなど学びしが、今はメガネや入れ歯とかくれんぼ。
30	歳古れば 丸くなるよに 角を立て	丸山功	尖った言葉をカバーする、位相を変えた角言葉を選ぶ？気を遣いますなあ。
31	病院に 10日(どうか)来ないと 死亡説	杉本樞夫	病院は熟年者のコミュニティ、この歳になっても他人の不幸は蜜の味。
33	病氣かしら あの人来ないと 待合室	丸山功	〇〇さん見ないわネェ～、もしかして症状が悪化して…。待合室の会話。
34	まとめ方 みんなどうする 最終章	結城忠章	特にハイポテンシャルな行動家が多いこのクラス、さて、誰が最終章を締めるのか。
35	リハビリに 3日(みっか)来ないと 重病説	杉本樞夫	今日の用は通院、待合室の話題は常連同士の症状比較、ほっと胸をなでおろす。
36	平成に 昭和が集う 弥彦の湯	結城忠章	昭和も遠くになりました。でも弥彦の湯では昭和の話が花盛り、満開！
36	後期保険 しっかり取るよ 年金で	丸山功	保険の構造も”老老”が基本のようで。
38	老年に 席ゆずられて 老いを知る	佐藤武	そうか、自分の目から見れば似たようなもんだと思うのだが……。
39	黒髪の せつなき思い はるかなる	小林伸雄	豊かな黒髪の頃の、甘酸っぱい思いが漂ってくるのでしょうか。
41	幹事会 予想たがわず 酒宴会	保科尠	そうなんです。なにせ”爛司”が居るもんですから。これが潤滑油。
42	ヨイショで座り ドッコイショと立って アツツ	松本勝威	いやぁ～、足腰の動きがギクシャクで……。お前もか？老人力がつきましたなあ。
43	まだ若い 気力と体力の 維持が大事だよ	新井誠司	そうですね、先ずは気持ちを若く持たないと。年寄りの冷や水大いに結構。
44	おいおまえ あれ、これ、それは あいことば	小林伸雄	おいあれくれ、これ？あれだよ、これ？それ？……。
45	弥彦山 学帽懐かし 電波塔	小宮山久治	あれは1年生の時だったかな、バス旅行だった、懐かしいねアルバムを開いたよ。
47	お弥彦に つどう仲間の 絆かな	保科尠	同級会出席率、50%/30代、40%/40代、30%/50代、20%/60代(全国平均)。E36/47%は異常？
48	歳重ね 卒時の望み 成か否か	小幡隆男	いろいろと、辛甘や意気込みなんぞもあつたけど、結局俺の人生は？
49	万歩計 7、80は 鼻垂れ小僧	小宮山久治	古希・傘寿は鼻垂れ小僧、万歩計付けて元気に過ごそうよ、と言う励ましの句かな。
50	斯(か)くなれば 華麗に加齢を 重ねべし	勝沼正敬	ここまで来たんだ、今までをデリートして華麗にテイクオフを演出しよう！